

クボタ通信

第**129**期 中間
2018.1.1-6.30



クボタ
ファーム

Feature

「クボタファーム」で、
日本農業の
未来を探る。



株式会社 **クボタ**

SDGsを羅針盤とし、 「グローバル・メジャー・ブランド クボタ」 実現への道を進んでまいります。

株主の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
クボタ通信(第129期中間)をお届けするに当たり、ご挨拶を申し上げます。
当第2四半期累計(2018年1月1日~2018年6月30日)の業績につきましては、右記のとおりとなりました。

株主の皆様におかれましては、今後も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社クボタ 代表取締役社長 末 駿 昌 俊



129th First Half Digest

国際財務報告基準(IFRS)の
任意適用を開始しました。

売上高

9,062億円
(前年同期比 7.0%増)

国内
機械部門、水・環境部門ともに増収。

海外
建設機械やエンジンの好調により機械部門が増収。ダクタイル鉄管やポンプの伸長により水・環境部門も増加。

営業利益

1,011億円
(前年同期比 1.0%増)

原材料価格の上昇に加え、販売促進費や固定費が増加するも、国内外での増販やユーロに対する円安効果などで補い増益。

親会社の所有者に帰属する 四半期利益

719億円
(前年同期比 1.3%増)

営業利益の増加や米国連邦法人税率の引き下げの影響により増益。

クボタグループの事業領域

事業と関連の深いSDGs※

全ての事業に 共通するSDGs

クボタグループは、農業の効率化によって
豊かで安定的な
食料の生産に貢献します。

食料

2 飢餓を
ゼロに



1 貧困を
なくそう



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



クボタグループは、水インフラの整備によって
安心な水の供給と再生に
貢献します。

水

6 安全な水とトイレ
を世界中に



3 すべての人に
健康と福祉を



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



クボタグループは、社会基盤の整備によって
快適な生活環境の
創造と保全に貢献します。

環境

11 住み続けられる
まちづくりを



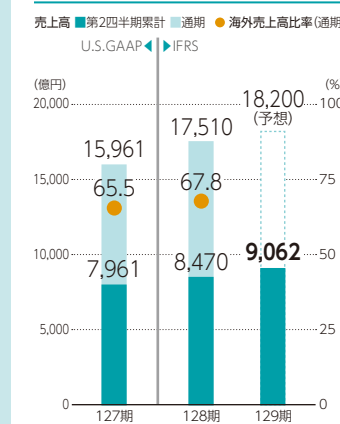
7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



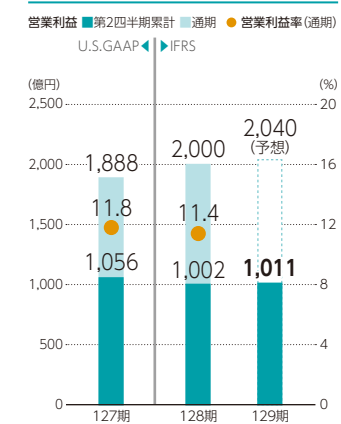
15 陸の豊かさも
守ろう



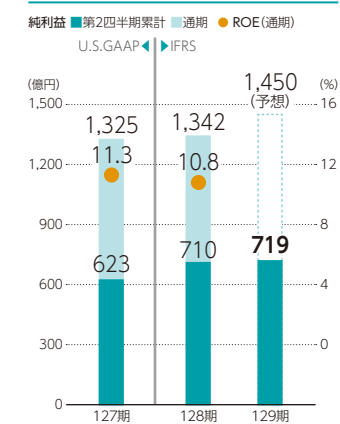
売上高・海外売上高比率



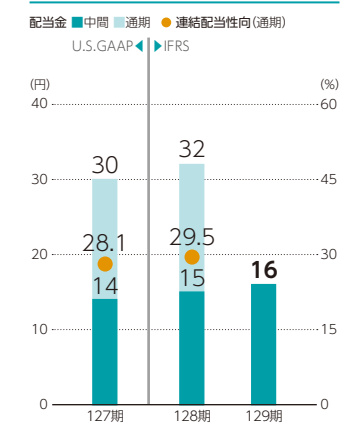
営業利益・営業利益率



親会社の所有者に帰属する 四半期(当期)利益・ROE



1株当たり配当金・連結配当性向



※当連結会計年度より従来の米国会計基準(U.S. GAAP)に替えてIFRSを適用しています。また、前年同四半期および前連結会計年度の財務数値についても、IFRSに準拠して表示しています。

業界初！自動運転農機 「アグリロボコンバイン」市場投入

クボタは、オペレータが乗車しての自動運転による稲・麦の収穫を可能にした「アグリロボコンバイン」を業界に先駆けて今年12月に本格販売します。自社開発のGPSユニットにより誤差数センチの高精度な刈り取りを実現しました。担い手農家の規模拡大が進む中、自動運転による収穫作業の効率化や高精度化、軽労化を図り、日本農業の活性化に貢献します。



自動運転アシストによる刈り取り作業



設置工事中の浄化槽

中国農村部のトイレ革命に浄化槽が貢献！

久保田環境科技(上海)有限公司(KEES)は、中国が国家をあげて取り組む農村部の生活環境改善のために使用する浄化槽を販売しています。クボタの排水処理技術を結集した浄化槽を設置することで、農村部の劣悪なトイレの水洗化を図り、水環境の改善に貢献しています。

KEESは浄化槽に加え、より高度な各種排水処理向けに使用される液中膜も販売しており、中国環境産業大会にて環境技術に優れた企業に贈られる緑英賞を3年連続で受賞しています。



機械部門 TOPICS

担い手農家向けにコンバイン、田植機のフラッグシップモデルを発表

農地の集約化、生産コスト低減が求められる中、クボタは担い手農家をターゲットにコンバイン、田植機をフルモデルチェンジします。

最新の排ガス規制に適合したエンジンを搭載した自脱型コンバイン「ディオニス」は、刈取・脱穀性能を向上させただけでなく、一枚の田んぼを細分化して食味・収量を測定するセンサ機能を新たに開発しました。田植機の「ナビヴェル」は「株間キープ機能」や「直進キープ機能」などのICT機能を搭載し、ボンネットカラーもトラクタやコンバインと同じオレンジカラーに一新しました。



田植機「ナビヴェル」 NW8S-F-GS

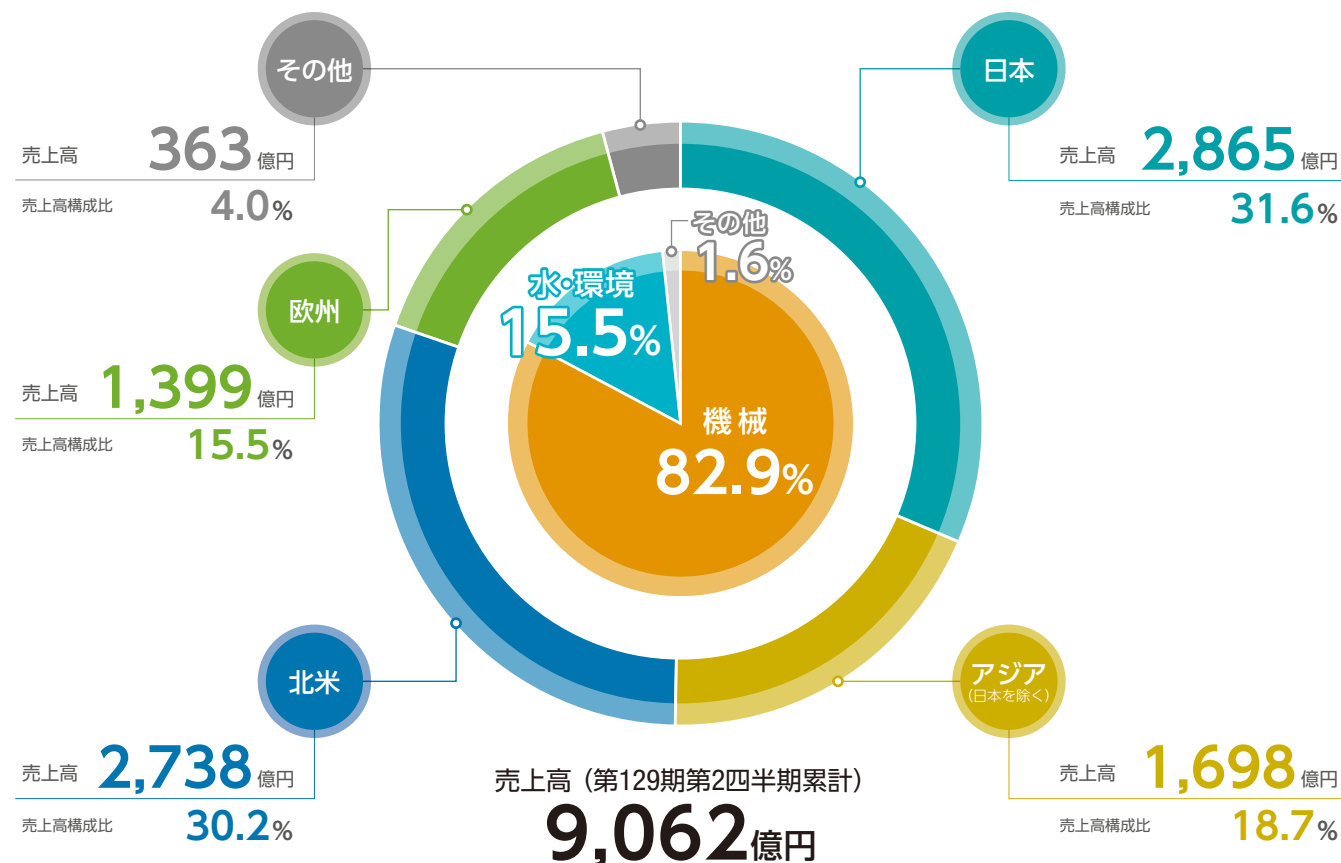
国内初「玄米ペースト」を使ったグルテンフリーの店「レストラン GENMAI GENKIDO」が渋谷にオープン

「コメの消費拡大により日本農業を支援したい」という想いを胸に、玄米玄気堂(株) (株)中九州クボタのグループ会社である(株)熊本玄米研究所と(株)トレードマークの合併会社)は東京都渋谷区に玄米づくりの飲食店「レストラン GENMAI GENKIDO」をオープンしました。玄米100%だからできるグルテンフリーの料理等で美味しく安心・安全、健康的な食生活を提案するとともに、コメの消費拡大によって日本農業の活性化に貢献していきます。



レストラン GENMAI GENKIDO
<https://genmai-g.jp/>

事業の概況



機械

農業機械および農業関連商品、エンジン、建設機械

売上高 **7,510** 億円 前年同期比 **+7.6%**

- **国内**：農業機械および農業関連商品、エンジン、建設機械が揃って増加。
- **北米**：堅調な需要を背景に建設機械、エンジン、トラクタともに増加したほか、インプレメントも堅調に推移。
- **欧州**：ユーロやポンドに対する為替改善効果に加え、建設機械が大幅に増加。
- **アジア**：米やキャッサバなどの価格上昇に伴う需要回復によりタイやミャンマーの農業機械が伸長。インドのトラクタも前期に投入した多目的トラクタの新機種などを中心に増加。一方で、中国の農業機械が政府による農業機械購入補助金予算の発表が遅れた影響などにより大幅に減少したため、アジア全体では減少。

セグメント利益 **1,087** 億円 前年同期比 **+6.7%**

- 販売促進費や固定費の増加を国内外での増収やユーロに対する円安効果などで補い増益。

水・環境

パイプ関連製品、環境関連製品、社会インフラ関連製品

売上高 **1,404** 億円 前年同期比 **+4.5%**

- **国内**：パイプ関連製品が微減となった一方、社会インフラ関連製品や環境関連製品が増加。
- **海外**：中東向けのダクタイル鉄管が大幅に増加したほか、ポンプや浄化槽も好調に推移。

セグメント利益 **91** 億円 前年同期比 **-22.7%**

- 原材料価格の上昇などにより減益。

その他

各種サービス事業

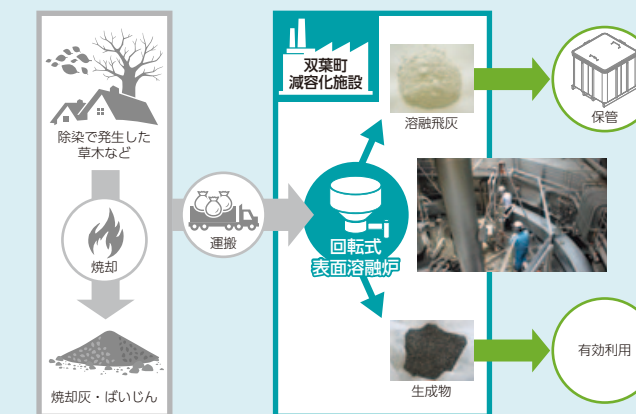
売上高 **148** 億円 前年同期比 **-0.5%**

セグメント利益 **11** 億円 前年同期比 **-25.7%**

水・環境部門 TOPICS

福島県双葉町減容化施設での廃棄物処理業務に参画

クボタ環境サービス(株)は、「双葉町減容化施設における廃棄物処理その1業務」に参画します。この事業は、福島県双葉町において発生または中間貯蔵施設に搬入されている放射性物質に汚染された廃棄物の処理を行うもので、クボタグループは主に「焼却灰」や「ばいじん」を減容化する施設の建設・運営を担当します。

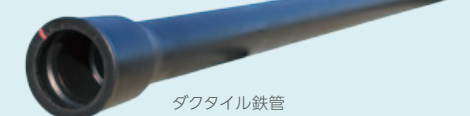


CO₂削減に向け、もみ殻を主原料とする多原料バイオコークスを代替燃料とした実証試験を実施

水道用ダクタイル鉄管製造工程のキュボラ溶解炉において、もみ殻を主原料とする多原料バイオコークスを石炭コークスの代替燃料として使用する世界初の実証試験を実施*しました。クボタグループではSDGsへの取り組みを重点施策にしており、再生可能エネルギーの利用拡大によりCO₂排出量を削減し、社会課題の解決に挑戦していきます。



多原料バイオコークス



ダクタイル鉄管

* (一財)石炭エネルギーセンターが環境省から委託を受けて実施している平成29年度CO₂排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業の一環として実施

持続可能な農業経営モデルを実践・発信する「クボタファーム」

「クボタファーム」は、クボタが農業に参画し、日本農業がこれから必要とする低コスト、省力、精密技術を実践・実証する場として、また入り口から出口までのトータルソリューションにトライアルする場として日本全国に展開している実証ファームです。

日本農業と共に歩んできたクボタの総合力を活かし、地域に根差した持続可能な未来農業の確立をめざします。ここでは、その一部をご紹介します。

～農業振興の新しいかたち～

最新技術で挑む生産空白期間 クボタファーム糸満



真夏の沖縄でトマトという挑戦

「『真夏の沖縄でトマトなんて作れるはずがない』事前調査を行った時はほとんどが否定的な意見でしたよ」。(株)南九州沖縄クボタの担当者は笑ってこう話します。

亜熱帯地域の沖縄では、5月までにトマトの栽培を終え、夏場は沖縄産トマトの流通がほとんどありません。この夏場に沖縄でトマトを作る、今まで食べたことのない美味しいトマトを作りたい、こんな熱い気持ちからクボタファーム糸満は始まりました。

外気温は30度以上、灼熱の太陽が照りつける中、ハウスの中には真っ赤なトマトがきれいに並んで栽培されています。室温、湿度、肥料や水温まですべて制御したクボタ最新施設と高糖度トマト栽培「アイメック栽培」が真夏の沖縄でのトマト作りを可能にしました。アイメック栽培で生産されたトマトは、沖縄のホテルやスーパーに出荷され地元の人々にも大人気です。この農園で働く主婦の方は「いままで食べたトマトの中で一番おいしかった」「近所の人にあげたらすごく喜んでいた」と話します。



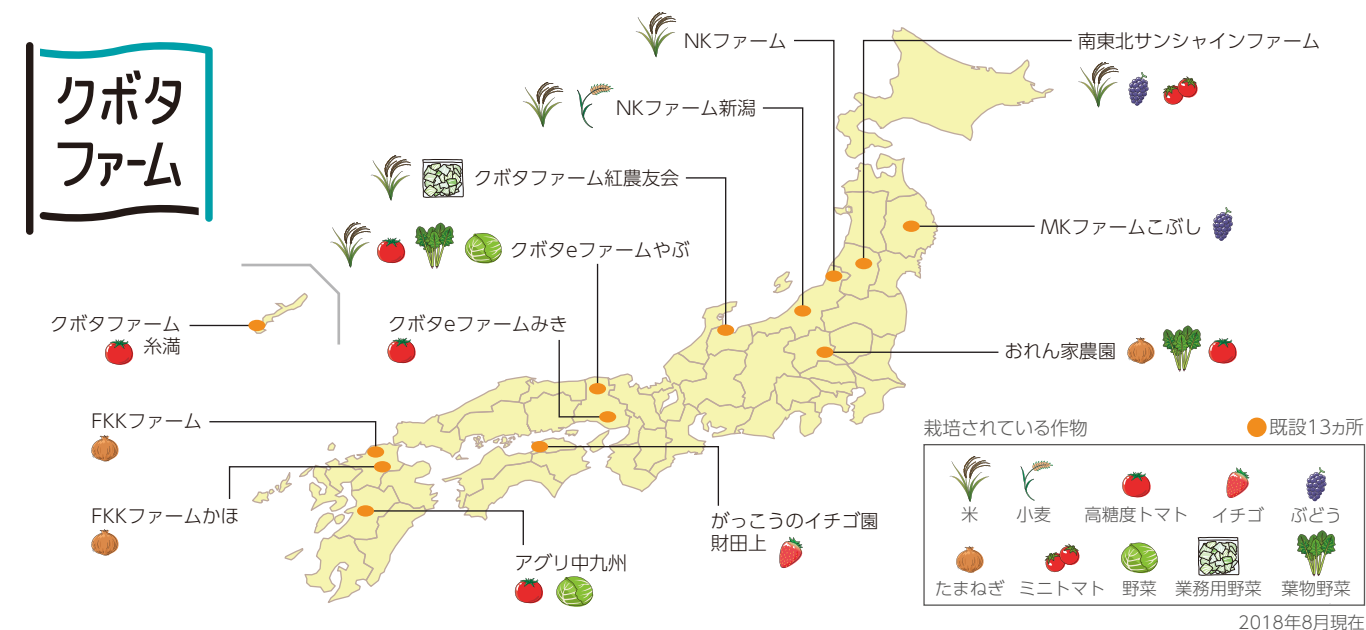
沖縄農業の未来のためにできること

トマトを作り始めて2年目、沖縄の夏はそれほど甘いものではありませんでした。想定以上の暑さで水温が上がり、トマトの生育が思い通りにいかない……。しかしこの環境変化に対応し夏場を順調に乗り越えることが沖縄でトマトの周年栽培を実現するための前提条件でした。クボタのアグリソリューション推進部や研究開発本部のスタッフも現地に入って改善策を探り、制御された環境をどのようにして保つか、試行錯誤の日々が続きます。

施設には若い農家の方が頻繁に見学のために訪れ、次世代の農業としての可能性を探っています。「先進的な方法で安定した収入を確保できる、若い人が取り組みやすい農業を実証したい。沖縄農業の活性化のためにこの実証ファームは必ず成功させなければ」。担当者は、沖縄農業の未来を見据えこのように話します。

【アイメック栽培とは】

トマトは、水分供給量が少ない条件下で栽培すると糖度が増します。しかし、今までの土耕栽培や水耕栽培ではかん水や施肥の方法が難しく、安定的な生産ができませんでした。アイメック栽培は、無数のナノサイズの穴が開いた特殊なフィルム（ハイドロメンブラン）により、トマトの根が求める養液だけを供給し余分な水分や雑菌を通さないことで、農業未経験の素人の方でも、栽培初年度から高糖度・高品質で安全・安心なトマトの生産を可能にする画期的な新技術です。



～日本農業の新しいかたち～

生産から販売まで、クボタがめざす営農組織 (株)おれん家農園



直売所と連携して 農産物の入り口から出口まで

群馬県前橋市にある(株)おれん家農園で待望の開所式が行われました。ここ(株)おれん家農園は、タイプの異なる三つのビニールハウスを使ってトマト、パプリカや水耕栽培を行い、最新の施設園芸機器を利用した次世代農業を実証しています。採れた野菜は、農園近くの直売所「おれん家ふぁ〜む」

で近隣農家からの農産物と一緒に販売し、地域住民の食卓を彩ります。農産物の生産から販売までをプロデュースする、クボタがめざす営農組織を実践しています。

農園の責任者は「おれん家ふぁ〜むと連携して市場の求める農産物の販路開拓を進めています。その販路にお客様に栽培していただいた農産物を乗せることで新しい農業経営モデルを提案し、日本農業の未来のために貢献していきたい」と意気込みます。

～地域再生の新しいかたち～

バリアフリー観光農園 がっこうのイチゴ園 財田上



小学校の跡地がイチゴ農園に？

「おいしい」「あまい、あまい」。校庭に子供たちの笑い声が聞こえます。

ここは香川県三豊市の財田上小学校、一昨年120年の歴史に幕を閉じ惜しまれつつ閉校した学校の跡地。地域に愛されたこの学校をいつまでもという地元の願いと、持続可能な新しい農業経営モデルで地域再生を実現したいクボタの想いが一致し、廃校が観光イチゴ農園に生まれ変わりました。

校庭にイチゴ農園、一見、できるの？と思われがちですが、(株)中四国クボタ営業担当者は「校庭だったからこそフラットで水捌けが良く、ビニールハウスの建設に最適だった」と話します。また、腰を落とさずに簡単に摘み取れる高設養液栽培や車いすが通れるバリアフリー農園を実現することでお年寄りや体の不自由な方もイチゴ狩りを楽しめます。今後は観光客を呼び込み、地域活性化のシンボルとして地元貢献していきます。

株主様向け枚方製造所見学会のお知らせ



枚方製造所外観

枚方製造所

当社は、株主の皆様にもノゾクリや事業活動についてより一層ご理解を深めていただくことを目的に、株主様向け工場見学会を開催しております。第五回目の工場見学会は「枚方製造所」です。建設機械、ポンプ等多様な製品の生産現場をご覧くださいので、この機会にぜひご応募ください。

工場名	枚方製造所
所在地	大阪府枚方市
主な製造品目	建設機械、ポンプ、バルブ、素形材製品

枚方製造所は1962年に操業を開始し、現在は主に建設機械やポンプ、バルブ、素形材製品の製造を行っています。中でも、6t未満のミニバックホーは世界シェアNo.1を誇っています。クボタを支えるマザー工場の1つとして国内外への供給拠点の中核を担い、お客様に感動を与えるモノづくりをめざしています。



ミニバックホー



ポンプ

詳しくは
同封のご案内を
ご覧ください。

今シーズンもクボタスピアーズの応援をよろしくお祈いします!!



ジャパンラグビートップリーグ 2018-2019

1節 8.31 [FRI] 19:30

vs パナソニック ワイルドナイツ
@大阪 キンチョウスタジアム

2節 9.8 [SAT] 16:30

vs ヤマハ発動機ジュビロ
@東京 秩父宮ラグビー場

3節 9.15 [SAT] 17:00

vs キヤノンイーグルス
@大阪 万博記念競技場



4節 9.22 [SAT] 15:00

vs Honda HEAT
@岡山 シティライトスタジアム

5節 10.6 [SAT] 13:00

vs リコーブラックラムズ
@奈良 天理親里ラグビー場

6節 10.13 [SAT] 13:00

vs 東芝ブレイブルーパス
@福島 いわきグリーンフィールド

7節 10.20 [SAT] 14:00

vs コカ・コーラレッドスパークス
@広島 コカ・コーラボトラーズジャパン
広島スタジアム

※11月以降はCUP戦および順位決定戦が行われます。

会社概要 (2018年6月30日現在)

社名 株式会社クボタ (Kubota Corporation)

創業年月 1890年2月

設立年月 1930年12月

資本金 84,130,486,162円

発行済株式総数 1,234,056,846株

株主数 45,318名

従業員数 連結 40,169名(就業人員)
単独 11,325名(就業人員)

本社 〒556-8601
大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号
tel(06)6648-2111 fax(06)6648-3862

東京本社 〒104-8307
東京都中央区京橋二丁目1番3号
京橋トラストタワー
tel(03)3245-3111 fax(03)3245-3822

ホームページ <http://www.kubota.co.jp/>

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月に開催

基準日 定時株主総会 毎年12月31日
期末配当 毎年12月31日
中間配当 毎年6月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行(株)
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行(株) 証券代行部
tel 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次窓口 三井住友信託銀行(株) 本店および全国各支店

公告方法 当社ホームページに掲載

上場証券取引所 東京証券取引所



未来のために、いま選ぼう。

